

## ■ 説明会の記録

### 1.1. 東小学区

日時：平成 27 年 12 月 20 日（日）14：00～15：30

出席：45名（子どもを除く）



### ■『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会 質問・回答一覧(東小学区)

主な質問・意見		回答
<b>1. 基本計画全般について</b>		
1	統合開始は最短でどのくらいになるのか。	来年度から、各小学区を対象に意見交換会を実施し、機運が高まったところから統合検討委員会を立ち上げる予定。早くして平成 29 年からとなる。
2	板橋小と東小の統合については考えられないか。	学区は地形的なことや距離が遠くなるところは通学支援などをすることを考えている。
3	東小は人数は少ないが残してほしい。学校がなくなると人口が減るのではないか。耐震工事をしたので学校として活用いただきたい。	平成 25 年度のアンケートでは「複式学級でも残して欲しい」が全体で約 60%ある。東地区でも約 20%の割合となっている。 校舎については、耐震工事もしているので、廃校となってもそのままの形で公共施設として残していきたいと考えている。
4	学校跡地について、学校として使うことはないのか。	現時点では決まっていない。今の意見も含めて今後検討したい。
5	私が卒業時も 1 クラスだった。当時は学級数などの指針はなかったのか。	文部科学省から平成 20 年指針が出た。市の答申には、120 人いれば統廃合しなくてもよいなどの付帯事項がある。ただ、少人数だと男女比のバランスが悪くなるなど、問題がある。
<b>2. 児童数の将来数値について</b>		
1	児童数の将来推計の根拠は何か。また、推計の精度は高いのか。	過去の男女別 1 歳階級別人口の動向を踏まえた計算（コーホート法）によって将来推計人口を行っている。国でも使っている一般的な手法を用いているので、ある程度の精度は確保されているものである。
<b>3. スクールバスについて</b>		
1	スクールバスの予算は確保されているのか。	スクールバスは、どこを通すかは未だ決まっていない状況である。運行形態は今後の話し合いの中で決めていただくこととなる。過去の実例では 1 台約 800 万かかっていた。
2	スクールバスは何便を出す予定か。	過去の実施例では、朝は同じ時間帯にバスを出し、帰りは 2 つの時間帯でバスを出していたことがある。